

## 日本歯周病学会 第 96 回 歯科衛生士教育講演会 報告

1. 研修会名：日本歯周病学会第 96 回歯科衛生士教育講演会（日本歯科衛生士会第 5 次生涯研修）
2. 主催：特定非営利活動法人 日本歯周病学会 （歯科衛生士関連委員会）
3. 協力：一般社団法人 沖縄県歯科衛生士会
4. 日時：2023 年 1 月 15 日（日）10：15～15：30（受付 9：45～）
5. 場所：沖縄県口腔保健医療センター 2 階大研修室  
沖縄県南風原町字新川 218 番地 1 TEL 098-996-3573
6. 演題：①チーム医療で取り組む歯周基本治療  
～患者のモチベーション向上への取り組みから SRP の実践～  
②今さら聞けない シャープニング ～スケーラーの形態を理解して SRP に繋げよう～
7. 講師：鎌田 征之（日本歯周病学会 歯科衛生士関連委員会 委員）  
茂木 美保（日本歯周病学会 歯科衛生士関連委員会 委員）
8. 研修単位：①②両方に該当する場合は、それぞれの単位取得が可能  
① 日本歯周病学会員の場合  
・ 認定歯科衛生士制度における申請時の教育研修単位（8 単位）  
・ 更新時の生涯研修単位（10 単位）  
② 日本歯科衛生士会会員、会員外の場合  
・ 第 5 次生涯研修制度に基づく専門研修単位（歯周治療の基礎技術）  
「Ⅰ 歯周治療の補助に必要な知識と技術 A 歯周基本治療について」2 単位  
「Ⅰ スケーリング・ルートプレーニング C シャープニング」2 単位

### 9. 内容：

受講人数は 51 名であり、そのうち日本歯周病学会会員の出席は 5 名であった。沖縄県の日本歯周病学会認定歯科衛生士数は、2023 年 1 月 6 日現在で 5 名である。

はじめに沖縄県歯科衛生士会野田会長の挨拶があり、茂木講師より日本歯科衛生士会第 5 次生涯研修制度の紹介があり、相対的歯科医行為を歯科衛生士が行うにはキャリアアップが必要であること、歯周病の予防や治療は歯科衛生士業務のベースであり、臨床に関わっていなくても、その知識や技術を持っていることが、他職種と連携していく上でも専門性を発揮できる強みとなることを強調し、日本歯周病学会認定歯科衛生士について説明をした。

続いて鎌田講師より「チーム医療で取り組む歯周基本治療～患者のモチベーション向上への取り組みから SRP の実践～」と題して、講演を行った。歯周病を健康へと導くためには、患者の積極的な治療参加と SPT を通して長くお付き合いをしていくことが重要となること、そしてこれらを実現するため

にも、患者のモチベーションアップは不可欠であり、また医院全体と患者さんとの相互でコミュニケーションを構築することが大切となることなどを中心に、チームで歯周治療に取り組む際のポイント、患者さんのモチベーション向上への取り組みから、歯ブラシの処方のポイント・SRP 成功のための必要な基礎知識など、症例とともに解説した。

後半の講演の前に、沖縄県で勤務している日本歯周病学会認定歯科衛生士さん（2名）に認定取得に関するお話や症例を発表してもらい、歯周治療に関わる歯科衛生士業務の熱い想いが語られた。

その後、茂木講師より「今さら聞けない シャープニング 〜スケーラーの形態を理解して SRP に繋げよう〜」と題して、講義と実習を行った。シャープニングの原則、的確な鋭利度の確認方法、そして技術は、理論に基づいていることが重要なので、スケーラーを正面像、上面像、側面像から分析をして導き出されたシャープニング方法を説明し、時計盤、紙砥石といった簡易な道具を用いて、グレースィキュレットの奇数番号を中心にシャープニングの実習を行った。

なお、アンケート回答者は 42 名であり、日本歯周病学会認定歯科衛生士は 1 名、今後取得する予定がある方は 13 名だった。

## 10. 感想：

沖縄県歯科衛生士会の希望で、会場定員半分以下の受講者数にしぼり、感染対策を徹底した上で集合型での開催だったので、実習や開催県会の認定歯科衛生士さんが介入できるプログラムを検討し実施した。沖縄県に 5 人いる認定歯科衛生士さん全員から協力したいとの意向はあったが、家族や日程等の理由で参加できず 2 名からプレゼンテーションをしていただいた。事前打合せでは、自身の経験ばかりでなく、沖縄県の他の歯科衛生士さんの現状なども伺うことができ、受講者を知って、講演会を企画していくことが大事だと改めて感じた。

前半の歯周基本治療の講演は、患者との関わり方など臨床的なヒントが多々あり、明日からすぐに役立つのではないかと感じた。

シャープニングの実習は、受講者も運営側も器具を用意したり、感染対策したりと手間がかかり、限られた時間では、すぐその場で上達できるものでもなく、受講生満足度が低くなりがちなので、なぜこのように動かすのか、裏付けを頭で考えることと、練習方法について伝えることとした。受講生が多かったが、歯科衛生士関連委員会の先生らにもサポートいただき、おかげさまで高い評価をいただけたと思う。

Web 研修と異なり集合型研修のメリットである実習は、参加者の関心度も高かったので、今後、シャープニングや SRP の実習を企画することも良いのではないかと感じた。過去の実習を取り入れた教育講演会では、開催県会の学術担当者や認定歯科衛生士さんと事前に打ち合わせをし、インストラクターとしてサポートしていただいたこともあった。開催地の認定歯科衛生士さんの活用は、本人のモチベーションを高め、認定歯科衛生士さん間のコミュニケーションにも繋がるので、積極的に取り入れたほうが良いと思う。

講演後には多くの参加者から質問があり、臨床に対する熱いパッションを感じることができ、とても有意義な時間を参加者とともに共有することができた。また「日本歯周病学会主催の講演会が沖縄で開催されることがとても嬉しかった」などの声を多く聞くことができ、今後も講演会・実習セミナーなどの企画を行っていければと感じた。

【会場の様子】



【シャープニング実習】



【沖縄県歯科衛生士会執行部の皆さま、沖縄県の認定歯科衛生士さんと演者】



（前列 左から）塩浦委員、沖縄県歯科衛生士会 野田直美会長、小田委員、演者の茂木美保委員と鎌田征之委員、日本歯周病学会認定歯科衛生士（沖縄）の富山美佳さんと宮里亜子さん